

## 蒲生干潟周辺の塩分濃度 53

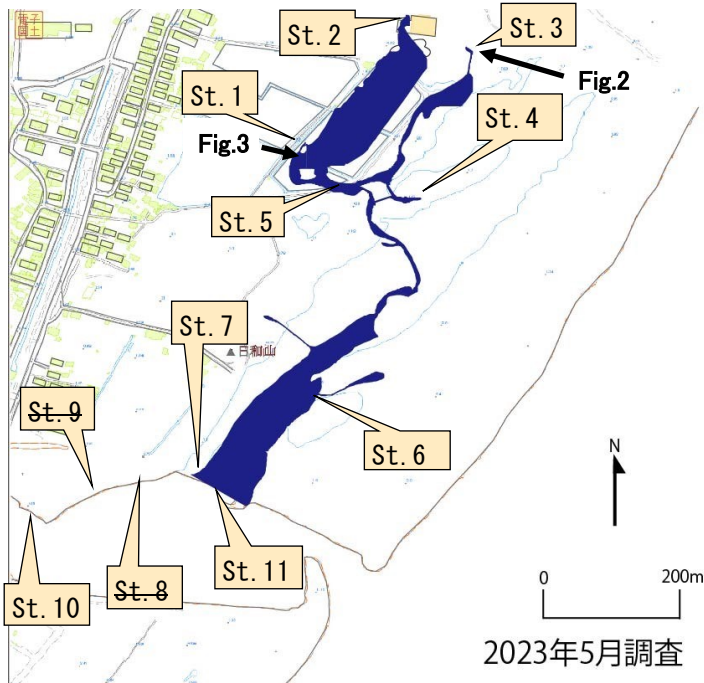


Fig.1 2023/5/18 採水点

Table.1 2023. 5月 塩分濃度(%)

採水点	2023 5/18	2023 4/12	増減	2022 4/13	増減
St. 1	1.0	2.6	-1.6	2.1	-1.2
St. 2	1.2	2.3	-1.1	0.6	0.6
St. 3	1.5	2.6	-1.1	1.1	0.4
St. 4	2.7	2.9	-0.2	1.7	1.0
St. 5	1.5	3.0	-1.5	2.6	-1.2
St. 6	2.4	3.1	-0.7	3.1	-0.7
St. 7	1.9	3.2	-1.3	1.5	0.4
St. 8		3.2		1.6	
St. 9		3.3		1.0	
St. 10	0.8	1.5	-0.7	1.3	-0.5
St. 11	2.3	3.2	-0.9	2.5	-0.2

※ 汽水基準値(0.05~3.0%)



Fig.2 St.3付近の様子



Fig.3 St.1付近の様子

調査日時：2023年5月18日（木）9:30~11:30（干潮 8:46 潮位 16cm），天気：晴れ

干潮後の調査。Fig.1に示す採水点St.1~St.11を対象に塩分濃度の測定を行った（St.8, 9は河床が露出していたため測定不能）。塩分濃度の測定については前月までと同じ方法で行った（過去レポート参照）。それぞれの結果を2023.5月塩分濃度（%）としてTable.1に記載し、前回までの調査（2023.4月，2022.5月）結果と比較した。

干潟全体の水量は少なく、湖底が露出している箇所が多くみられたが、最北端の潟湖は水量を保っていた（Fig.2）。河川の水量も非常に少なく、導流堤では河川に向かう強い水の流れを確認した。またSt.1では、旧養魚所方向から、多くの水が流れ込んでいた（Fig.3）。塩分濃度は、すべての採水点で先月よりも低い値を示した。昨年5月の値と比較すると、北側潟湖の北端であるSt.2, 3で、昨年の値に近い数値を示した。南側潟湖の中央部分のSt.6は、今月の他の採水点と比較するとやや高い数値を示しているが、先月と昨年のどちらと比較しても、低い値であった。

（沼尾和弥）